

# 九歴たより

No.54  
2021.11

令和3年度特別展

## 九州山岳靈場遺宝 —海を望む北西部の山々から—

古来、人は山を神が住まう場として崇めてきました。やがて仏教が渡来して山は修行の場ともなり、神仏が共生する聖地となって長い年月を重ねました。明治初めの神仏分離や修驗宗廃止は、山のあり方に大きな影響を及ぼしましたが、しかし、今も多くの山が聖地として生き続け、そこには多くの貴重な文化財が伝えられています。日常生活や開発により変化が著しい市街地に比べると、山にはいにしえの面影が色濃くのこっています。山とそこに伝わる文化財は、歴史や文化を考える上できわめて重要な存在です。そのような山について、九州歴史資料館では、九州を中心に調査研究を深めてまいりました。当館に事務局を置いて活動を続けてきた、九州山岳靈場遺跡研究会による成果の蓄積も進んでいます。本展は、そのような調査研究の成果に基づくもので、とくに九州ならではの特徴である大陸との交流の痕跡を色濃くのこす、北西部の山々に絞り、それらの靈山を象徴する御尊像を中心とする、ゆかりの文化財を一堂に会して御紹介するものです。九州の北西部には、宝満山や若杉山などを擁する三郡山地、浮嶽や雷山、脊振山や天山などを擁する脊振山地、四王寺山、多良岳や雲仙岳などの、名だたる靈山が構えています。雄大な山々とその歴史の全貌を、会場に収めることは叶いませんが、その粹だと言える文化財と向き合うことを通して、九州の山岳靈場の歴史とその特質を、体感していただきたいと思っております。展示室では、早くから著名な仏像や神像、



近年新たに確認された重要作例、そして伝世品や出土品を問わない遺宝の数々、中国から渡來した絵画や石造物などを紹介しています。みなさんの身の回りに構えている靈山の、すごさ素晴らしさを伝える文化財の魅力を御堪能ください。

令和3年度特別展「九州山岳靈場遺宝 —海を望む北西部の山々から—」

会期：令和3年10月9日(土)～12月5日(日) 会場：第1展示室

# 九州北西部の靈山ゆかりの秘仏も来場

～特別展「九州山岳靈場遺宝－海を望む北西部の山々から－」～

## 十一面觀音立像



三郡山地の一画を占める、若杉山南側の佐谷に伝わる美しい十一面觀音像です。普段は年に1度、4月の第1日曜日にのみ開帳されています。静かで円満な姿で、蓮華座上にすらりと立ち上がった様子は優美で、その作風から12世紀の作だと考えられます。現存する三郡山地の仏像の代表作の一つです。

平安時代・12世紀  
福岡県須恵市・佐谷区文化財保存会蔵

## 千手觀音立像



脊振山地の南西に聳える天山にある、建保寺と称される小堂の、厨子内に秘められている古像です。威厳ある表情、大きく長い耳、厳しい衣文の彫り、そして像のほぼ全てを台座まで含んで一材から彫出する構造は、平安時代初期の特徴を見せてています。9世紀末に遡る可能性がある、脊振山地最古級の像です。

平安時代・10世紀  
佐賀県小城市・東小松区蔵

## 不動三尊像



平安時代・12世紀  
長崎県諫早市・金泉寺蔵

多良岳における佛教信仰の中心、金泉寺の秘仏本尊です。不動明王立像と向かって左の制吒迦童子立像は、忿怒の相を示しつつも穏やかな様子で、平安時代後期の造像だと見られます。これらの背面や、不動明王像の左腕には彫跡がのこされ、今までに靈木から仏が出現している劇的な様子があらわされています。

## 四面菩薩坐像



江戸時代・宝永2年(1705)  
長崎県諫早市・天祐寺蔵

天祐寺は、諫早きっての曹洞宗寺院です。この寺は、神仏分離で受難した尊像を受け容れたことでも知られ、四面菩薩坐像もその一例です。厨子内に秘められたこの像は、明治初年に四面宮(現在の諫早神社)から移坐されました。四面菩薩は雲仙岳の神です。雲仙の堂々たる山容にふさわしい堂々たる尊像です。

## 九歴名品探訪 vol.13

# 官幣社竈門神社地景

近世から近代にかけて、全国的に、寺社の境内を描いた版画の一枚刷りの絵図が制作されました。こうした境内絵図は、参拝者向けのみやげものとして、寺社周辺で販売されていたとみられます。

今回ご紹介するのは、そのような絵図のうち、太宰府の竈門神社を描いたものです。制作された明治30年の時期によく使われていた、石版という印刷技法で刷られています。画面左上に大きく描かれるのは宝満山。そこから目線を右下に移すと、麓の竈門神社下宮の境内が写実的な描写で描かれます。人がたくさんいて賑わっている様子です。画面左下部に設けられた枠内には、大宰府政跡や観世音寺、戒壇院といった周辺の名所旧跡が紹介されています。

著作兼出版者として左隅に名前が載る高田磯三郎という人物は、太宰府天満宮参道の旅籠、甘木屋の関係者であったようです。また、画面右上部には、図中には描かれていない太宰府天満宮の境内の建造物の名前が示されています。これらのことを考え合わせると、この絵図は、天満宮を描いた別の絵図と2枚セットで、太宰府天満宮の参拝者に向けて竈門神社の広報のために販売されていたことが推察されます。



《官幣社竈門神社地景》明治30年(1897) 紙本石版刷り・めくり一枚

当館では令和2年度に新たな文化財のデジタルコンテンツを制作しました。今回は、当館が推進するX線CTスキャナをはじめとする先進的なデジタル計測技術を応用して制作した、VR（バーチャルリアリティ）で展示資料を体感できるコンテンツを紹介します。

展示資料は、通常、ガラス越しに見るだけですが、私たち学芸員は、調査や研究のため目の前まで近づいて観察します。また、保存修復の時には解体するので、内部がどういう造りになっているのかを実際に見ることができます。こうした体感を、ぜひみなさんにも味わってもらいたい！そのような思いをVRでかなえることができました。

今回、体感できる展示資料は、当館で展示している仏像のうち、だつえいばざぞう奪衣婆坐像です。さんぎ奪衣婆は三途の川の畔にいる老女で、その像姿は鬼気迫るものですが、普段はガラス越しに正面からしか表情をうかがうことができません。

そこでVRを使うことで、この像に極限まで近づき、展示室では実現不可能な距離で恐ろしい表情を感じることができます。そして、これも実際は不可能である、仏像を解体し、内部に入り、その造りを観察することができます。特に頭の内部の目の部分では、迫真性を高めるために用いられた玉眼と呼ばれる、水晶を嵌め込む技法を立体的に観察することができます。これらは、仏像の調査や本格的な修復の現場でしか見る事がない光景です。これをみなさんにも体感していただくことができます。

このほか、発掘現場で豪華な遺物を発掘したり、古墳の中を探索するコンテンツも制作しています。

これらVRコンテンツは、現在、新型コロナウイルス感染防止を考慮した開催の準備を進めているところです。開始する時期が決まりましたらお知らせいたしますので、もう少し、お待ちください。



体験の様子



奪衣婆坐像の頭の中

## 展示紹介 令和3年度 下半期に開催される展覧会

### 企画展 「歴史の宝石箱 ダイジェスト版」

会期 10月12日(火)～11月28日(日) 会場 第2展示室

特別展期間中、常設展示「歴史の宝石箱」の展示品から代表的な考古資料を厳選して展示。

### 企画展 「史跡が紡ぐ福岡の歴史～新規国指定史跡～」

会期 11月30日(火)～4月3日(日) 会場 第2展示室

近年新しく国史跡に指定された安徳台遺跡や阿恵官衙遺跡などの出土品を展示。

### 福岡県置県150周年記念

### 企画展 「福岡県政150年～第1部 九州の中核をめざして～」

会期 12月18日(土)～1月23日(日)

会場 第1展示室(中世～近代コーナー)

明治～終戦直後の県政の歴史を通して、福岡県が九州の中核として成長していく姿を紹介。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため会期短縮された夏季企画展の再実施。

### 重要文化財指定記念

### 特集展示 「木簡からみた古代の大宰府」

会期 12月18日(土)～2月13日(日) 会場 第1展示室(大宰府コーナー)

令和元年に国の重要文化財となった「大宰府跡出土木簡」をかつてない規模で一挙公開。

### パネル展 「邪馬台国への道 後編」

会期 10月26日(火)～3月27日(日) 会場 文化情報広場

邪馬台国へいたる道を、西谷正名監修長が撮影した遺跡の写真でたどる写真展の後編。

### 記念講演会

事前申込  
必要

### 「律令制国家の 辺要政策と大宰府」

日時 1月23日(日)  
13:30～15:30

講師 吉村 武彦 氏  
(明治大学名誉教授)



大宰府跡出土木簡 もつかん

# 九州歴史資料館・分館行事予定

【令和3年10月～令和4年3月】

九州歴史資料館	行事・事業予定
展 示	常 設 展：12月18日(土)～3月31日(木)「歴史(とき)の宝石箱」 特 別 展：10月9日(土)～12月5日(日)「九州山岳靈場遺宝－海を望む北西部の山々から－」 企 画 展：10月12日(火)～11月28日(日)「歴史(とき)の宝石箱 ダイジェスト版」 11月30日(火)～4月3日(日)「史跡が紡ぐ福岡の歴史～新規国指定史跡～」 12月18日(土)～1月23日(日)「福岡県政150年～第1部 九州の中核をめざして～」 特 集 展 示：12月18日(土)～2月13日(日)「木簡からみた古代の大宰府」 パ ネ ル 展：10月26日(火)～3月27日(日)「邪馬台国への道 後編」
古代体験	九歴ボランティアによる古代体験： 10月31日(日)より一部の体験を除き再開中。 メニューや実施の状況はホームページでご確認ください。
発掘調査	大宰府史跡調査(蔵司地区・大宰府外郭線)・県内遺跡調査

## アクロスミュージアムコンサート in 九州歴史資料館

ギターとフルートのアンサンブルをお楽しみください。

日時：11月14日(日)  
 ①13:30～14:00  
 ②15:00～15:30

会場：第4展示室

料金：無料 先着順50名(当日整理券配布)

事前申込不要

## 古代体験まつり in 九州歴史資料館

県内6か所の資料館・博物館の古代体験を一度に体験できます。

日時：11月28日(日) 11:00～15:00

会場：第4展示室・中庭ほか

事前申込不要

料金：無料(一部有料) 各ブース先着順

※各種講座も開催しております。詳しい情報は、当館ホームページやチラシなどでご確認ください。内容や開催期間は変更することがあります。詳しくは当館までお問い合わせください。

求菩提 資料館	常 設 展：「求菩提修驗道の世界」 企 画 展：10月23日(土)～11月28日(日)「如法寺展」 1月29日(土)～3月21日(月) 第15回「おひなまつり」
〒828-0085 豊前市大字鳥井畠 247 TEL・FAX 0979-88-3203	
甘木歴史 資料館	常 設 展：第1展示室「朝倉の民俗・歴史資料」／第2展示室「朝倉の考古資料」 企 画 展：10月23日(土)～12月19日(日)「朝倉三奈木・品照寺—三奈木の歴史と文化財—」 パ ネ ル 展：11月2日(火)～12月19日(日)「朝倉三奈木の文化財」
〒838-0068 朝倉市甘木216-2 TEL・FAX 0946-22-7515	
柳川 古文書館	企 画 展：10月6日(水)～11月28日(日)「柳川の文事～柳川の「文」を紡いだ人々～」 12月1日(水)～2月6日(日)「柳河藩の町と村」 2月11日(金)～3月31日(木)「松井家・立石家のおひな様」
〒832-0021 柳川市鶴町71-2 TEL 0944-72-1037 FAX 0944-72-5559	

※各館の行事や休館日(閉室)等については、各館ホームページまたは直接お問い合わせください。



〒838-0106 福岡県小郡市三沢5208-3

TEL 0942-75-9575 FAX 0942-75-7834 URL <https://kyureki.jp/>



ホームページ



ツイッター

開館時間 午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)

観 覧 料 一般210(150)円 大学生・高校生150(100)円

満65歳以上・中学生以下の方無料

障がいのある方(同伴介護者1名)無料

※土曜日は高校生も無料

※( )内は団体料金(20名以上)

休 館 日 月曜日(ただし祝日・振替休日の場合はその翌日)

年末年始(12月28日～1月4日)

### ●公共交通機関

《西鉄電車》天神大牟田線三国が丘駅から徒歩で約700m

《JR》鹿児島本線原田駅からタクシーで約10分

《小郡市コミュニティバス》東野・美鈴が丘ルート「九州歴史資料館」下車

西鉄三国が丘駅西口から約3分

(9時57分・15時9分) 曜日・祝日運休

### ●自動車

《九州自動車道》筑紫野I.C.から鳥栖筑紫野道路経由で約15分

《大分自動車道》筑後小郡I.C.から国道500号線・県道88号線経由で約15分

《福岡都市高速》水城出口から国道3号線経由で約25分

